



有機  
ヤマゲン  
バイオ液

***Organic Yamagen Bio Liquid***

モニター検証 6ヶ月

2024

## モニター検証 6カ月考察 (2023.11.21~2024.5.15)

「有機ヤマゲン」バイオ液散布区においては、一部試験エリア内でTR4に罹病した木が確認されたが、6ヶ月経過した現在も、全体的に予防されており生育も良好です。

スタートよりご協力頂いている現地試験担当者より、散布区と非散布区エリアでははっきりと効果の確認が出来るくらいの違いがあるとの報告もありました。

過去の実績や研究データ、今回の経過観察を考慮しても、  
「有機ヤマゲン」バイオ液は**TR4被害拡大予防に効果がある**と考えております。

## **TR4予防効果の確認 6ヶ月考察** (2023.11.21~2024.5.15)

試験エリア内の一部に於いては海外の読めない悪天候の影響もあり感染を予防する事は出来なかったが、基本的には罹病しているバナナの木周辺の木に継続して「有機ヤマゲン」バイオ液を散布している為、今回も通常通り効果を発揮し、全体的に写真を確認してもTR4に感染することなく現在もしっかりと感染の広がりを抑え、予防出来ている事が分かります。

また同時にバナナの木・葉ともに早い成長の確認をする事が出来ております。

⇒設定された分量、頻度での散布を現地担当者様にご協力してもらいながら継続して経過観察を6ヶ月間実施しました。

# TR4予防効果の確認方法



左の写真のように中心が100%罹病している木の周辺に「有機ヤマゲン」バイオ液を散布してそれが罹病せずに予防出来ているかを各農園で設定したエリア内にて経過観察とともに確認。

◆場所は2つの協力農園にて実施  
農園A<低地>10エリアにて(PP1~PP10) 周辺の木には各々アルファベットで設定  
農園B<高地>2エリアにて(P1~P2) //

- ・サンプルケースを次のページより紹介しております。
- ・100%罹病した中心の木からの距離もあわせて記載しております。



**現状、「有機ヤマゲン」バイオ液を散布している為、  
基本的にはTR4に感染することなくしっかりと予防出来ております。**

\* 100%罹病した木の写真  
(ロープを巻き周辺の木への予防効果があったかを確認)

## 【予防◎】 Case-1 (単体)

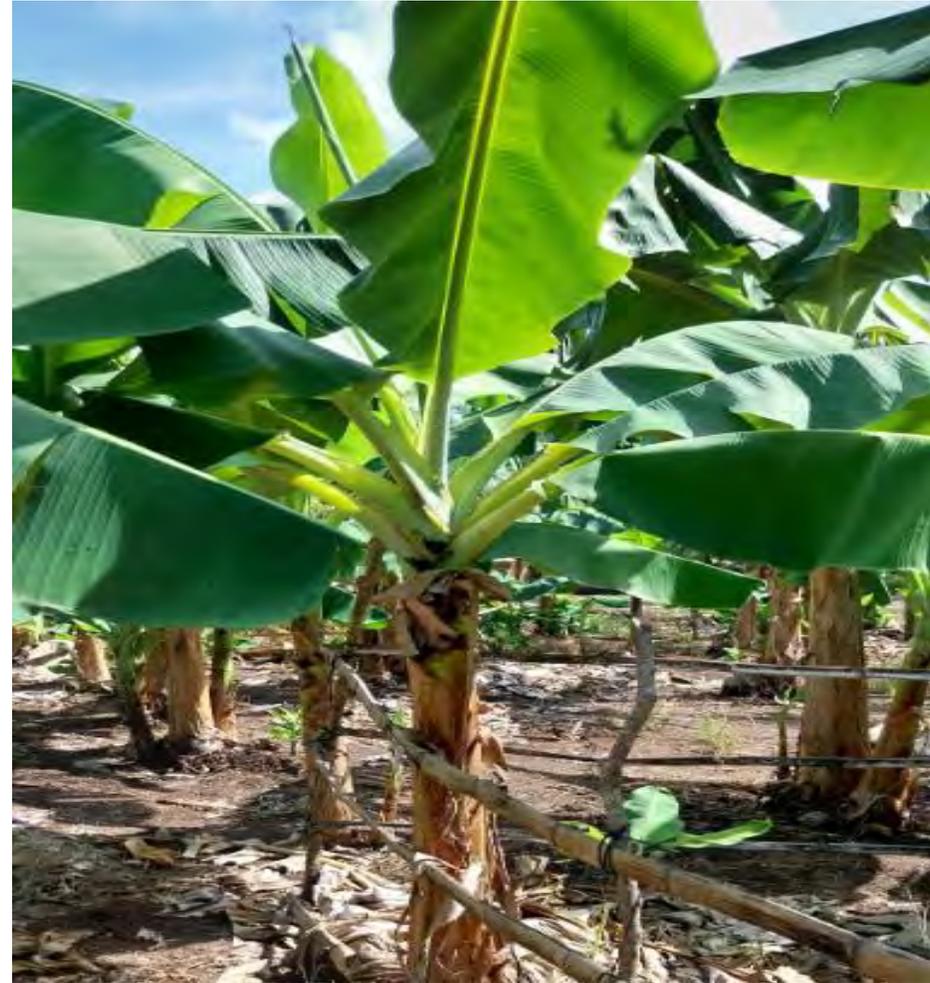
<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:2.4m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:PP4-D

## 【予防◎】 Case-2 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:1.7m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防◎】 Case-3 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:1.6m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防◎】 Case-4 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:2.2m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防◎】 Case-5 (単体)

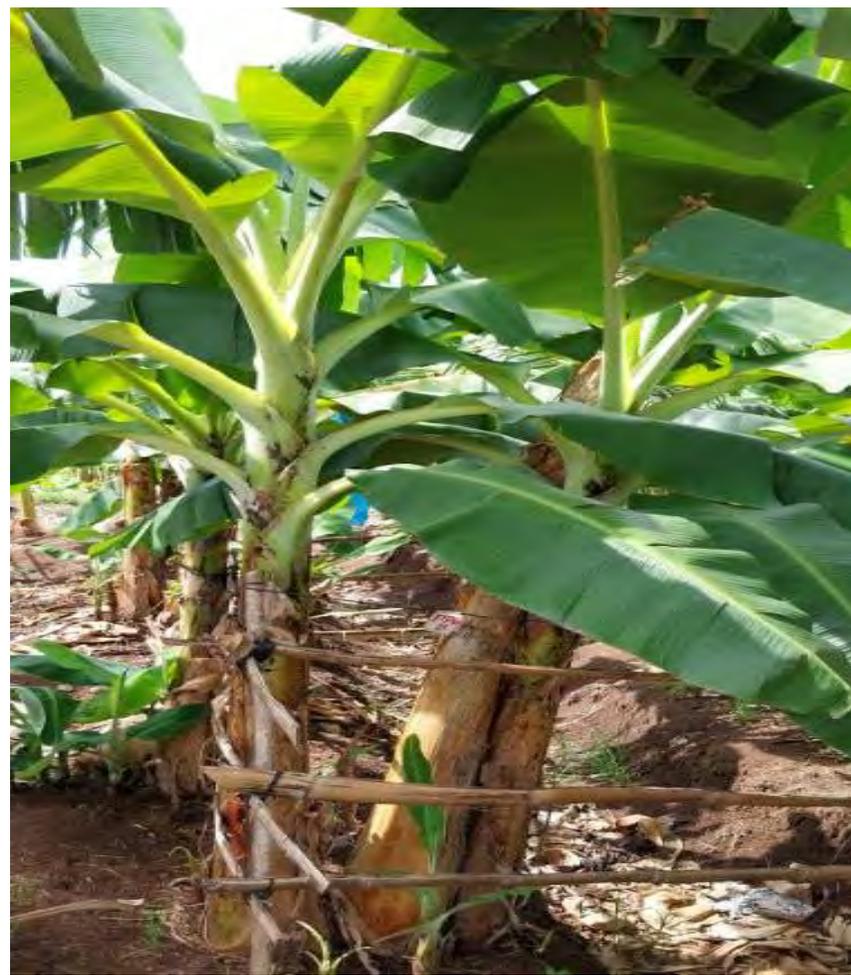
<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:2.2m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:PP6-B

## 【予防◎】 Case-6 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:1.3m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防◎】 Case-7 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:1.7m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防◎】 Case-8 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:1.3m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防◎】 Case-9 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:1.7m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防◎】 Case-10 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木)⇒**予防目的**

\*罹病した木との距離:2.1m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防】 Case-1 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防】 Case-2 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防】 Case-3 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:PP3

## 【予防】 Case-4 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:PP4

## 【予防】 Case-5 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防】 Case-6 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防】 Case-7 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防】 Case-8 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【予防】 Case-9 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



# 【予防】 Case-10 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 ⇒ **予防目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:PP10

## **TR4治癒+成長促進の確認 6カ月考察 (2023.11.21~2024.5.15)**

罹病していたバナナの木の子株が感染後に崩壊した後、継続的に「有機ヤマゲン」バイオ液を散布していた何カ所かの子株からはTR4に感染することなく、また、バナナの木・葉ともに早い成長の確認をする事が同時に出来ております。

⇒治癒の断定をするには孫株までの経過観察が必要となりますが、成長過程をみても現状罹病しておらず治癒できていると想定できます。

【治癒 ○】 Case-1 (初回より親株が感染→子株には感染せず)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木)⇒**治癒目的**

\*罹病した木との距離:1.8m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.1.18 (2ヶ月)



◆2024.3.15(4ヶ月)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



# 【治癒 ○】 Case-2 (初回より親株が感染→子株には感染せず)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木)⇒**治癒目的**

\*罹病した木との距離:2.4m

◆2023.11.23 (初回)



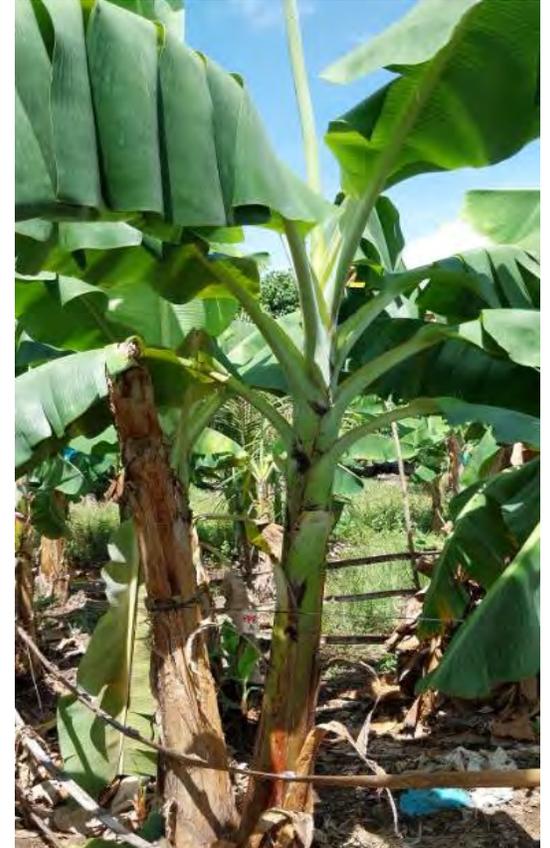
◆2024.1.18 (2ヶ月)



◆2024.3.15(4ヶ月)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:PP8-A

# 【治癒 ○】 Case-3 (初回より親株が感染→子株には感染せず)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布**経過観察 (100%罹病した木)⇒**治癒目的**

\*罹病した木との距離:1.4m

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.1.18 (2ヶ月)



◆2024.3.15(4ヶ月)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 比較対照エリア 6カ月考察 (2023.11.21~2024.5.15)

「有機ヤマゲン」バイオ液散布をしていない野放し状態の比較対照エリアに於いては、先月の雨がほとんど降らない暑い日が続いて広がりを見せ、以降、感染スピードは更に加速し、サンプル株はほぼ全滅したと言える結果になりました。

初回と今回の各サンプル株と全体写真を見比べると一目瞭然です。

⇒検証本数の**98%**がすでに感染しております。

## 【比較対照エリア】 Case-1 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2024.1.25 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP1-D

## 【比較対照エリア】 Case-2 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2024.1.25 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP1-E

## 【比較対照エリア】 Case-3 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2024.1.25 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP4-G

## 【比較対照エリア】 Case-4 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2024.1.25 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP6-B

## 【比較対照エリア】 Case-5 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2024.1.25 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP7-B

## 【比較対照エリア】 Case-6 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒ **比較対照目的**

◆2024.1.25 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP8-D

## 【比較対照エリア】 Case-7 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2024.1.25 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP9-E

## 【比較対照エリア】 Case-8 (単体)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2024.1.25 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【比較対照エリア】 Case-1 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP1

## 【比較対照エリア】 Case-2 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【比較対照エリア】 Case-3 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【比較対照エリア】 Case-4 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP4

## 【比較対照エリア】 Case-5 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【比較対照エリア】 Case-6 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



Sample:CP6

## 【比較対照エリア】 Case-7 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)



## 【比較対照エリア】 Case-8 (全体イメージ)

<モニター検証>有機ヤマゲン**散布していない**エリアにてTR4進行の経過観察⇒**比較対照目的**

◆2023.11.23 (初回)



◆2024.5.15 (6ヶ月)

